
幸せの贈り物

望実

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幸せの贈り物

【Nコード】

N1665B

【作者名】

望実

【あらすじ】

街がクリスマスに染まり幸せそうな人々の中、子供にプレゼントが買えずに暗い顔をしていたが…本当に子供が欲しい物とは…！？

クリスマスの一週間前、街はクリスマスカラーで色鮮やかに染まり、人々が心踊らせ笑顔で歩いているのとは反対に、暗い顔をした一人の母親が子供を連れて、冷たい冬の空の下、薄着で歩いていた。

「もう少しでクリスマスだねえ。」

と子供が話しかけてきた。しかし、母親は、

「そうね。」

と答えただけであつた。

「うちにもサンタさんくるかなあ？」

という質問も

「くるかなあ？」とオウム返しのような返事しかできなかった。

すると、子供が、

「うちは貧乏なの？」

と言ってきたので、母親は、ドキツとし、どう答えていいのかわからず戸惑っていた。

はたして子供の素朴な疑問なのか、全てを知っているからなのか…

母親は少し考えたが、相手は五歳、と思い

「そうね。ある方じゃないわね。」

と答えた。子供は

「そうなんだあ。」

と答えただけで、それから以上は聞いてこなかった。

その夜、子供が寝付いた後に父親が戻り、母親は子供の話しをした。

「今日、あの子にうちは貧乏なのか聞かれました。」

それを聞いた父親は

「それは、僕の稼ぎが少ないって嫌みなの？」

と顔を曇らせた。

「違っわ!」

と弁解するものの…

この二人は愛しあつてはいたが、お金がなく、生活が苦しい為、お金の匂いのする言葉にとても過剰になつてしまい、よく言い争いをしていた。

結局、この日も言い争いになつてしまい…

「君が望むなら、もつとお金のある人とやり直してもいいよ。」
という言葉に、母親が傷つき。最後には泣き出してしまつたようだ。そんな親の姿を、子供は見ていた。
それから一週間が過ぎ、二人は子供にプレゼントを買えないままクリスマス朝を迎えた。

自分達の力の無さに、気の重い朝だと思い起き上がってみると、二人の枕元には沢山のお金が、いや、紙に描かれたお金が置いてあった。

驚きの余り、言葉を失い、お互いの顔を見合わせていると、
「サンタからのプレゼントです。これでケンカしないでねってさ!」
と子供が得意な顔をして言っているのに気がついた。

「どうやら、子供なりに
「お金があればケンカしない」
と考えたようだ。

その気持ちを知り母親と父親は
「素敵なプレゼントをありがとう。」
といいながら、子供を抱きしめたのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1665b/>

幸せの贈り物

2011年1月13日00時50分発行